



藤枝市

学校安全総合支援事業 藤枝市の取組 2021

教育政策課

藤枝市の取組

藤枝市教育委員会

モデル地域

大洲中学校

大洲小学校

25小中学校へ（中学校9校、小学校16校）



モデル地域での取組

「生活安全」・・・防犯への取組
「交通安全」・・・危険箇所の点検

主な取組

- (1) 学校安全教育推進委員会の開催
- (2) 校内点検
- (3) 防犯カメラ設置
- (4) 危険箇所合同点検



(1)学校安全教育推進委員会

○参加者

大学教授

学校アドバイザー2人

大洲中学校

校長、教頭、安全担当教諭、PTA会長

大洲小学校

教頭、安全担当教諭、PTA会長

教育政策課

担当職員

○内容

・モデル地区の現状確認

・取組検討

・学校アドバイザーによる指導・助言

(2) 校内点検 【防犯・校内安全】





(2) 校内点検【防犯・校内安全】

防犯の観点

- 学校は侵入口が多すぎる。
 - ・ 防犯カメラを設置する（ダミーカメラも効果的）
 - ・ 進入口を最小限にする（不便さとの兼ね合いを考慮）
 - ・ 学校への来客者の導線を策定する
 - ・ ホイッスルの活用（廊下や教室に設置及び教員が所持）
- 小学校低学年の教室が1階にある。
 - ・ 高学年と入れ替える等配置替えを検討すべき

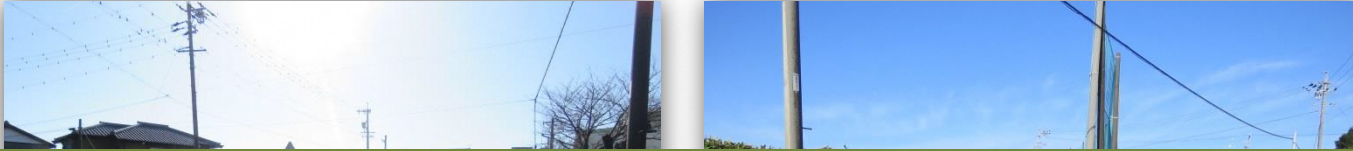
安全の観点

- 非常階段が普段の通路になっている。
 - ・ 教員だけしか使わないことになっているが、万が一を考え対応することが大事。

(2)校内点検【交通安全】



(2)校内点検【交通安全】



交通安全の観点

○通学路の安全確保。

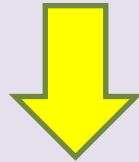
(横断歩道の設置、危険箇所の整備)

- ・ 横断歩道設置にはルールがあり、すぐに動かすことは困難。
- ・ 危険箇所の整備は、大人数でやると取組が進みやすい。
(県・市の道路課、警察、地域の方、安全アドバイザー、
教育関係職員等)



(3)防犯カメラ設置

- R1年度 市内全小中学校に防犯カメラ設置
 - ・ 学校の実態に合っていない場所あり
 - ・ 1階の教室窓側が死角となり、目が届かない場所あり



防犯カメラを増設



(4)危険箇所合同点検

- 各学校から提出される通学路における危険箇所の点検の人数を増員し対応。



各部署の役割分担を明確化

地域でできること→町内会長

道路修理に関すること→県または市の道路課

交通安全に関すること→警察 等

(5)その他

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

- 先進地視察
大阪教育大学附属池田小学校訪問
- 藤枝小中学校合同研修会
市内小中学校の安全担当教諭を集めての研修会

成果と今後の展望

成果

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、計画していた取組の中止や遅れがあったが、学校安全アドバイザーの指導・助言により、効果的な取組ができた。
- 学校安全総合支援事業に取り組んだモデル地域が、これまで以上に地域や関係機関等との連携が図れ、安全教育の充実につなげることができた。

今後の展望

- モデル地域の取組を藤枝市内全小中学校の活動へと広げる。
- 子どもたちの安全に関する意識の向上と自分の命を守る力の醸成を目指し、学校のみならず、地域や関係機関等の地域資源を活用した安全教育の実践を図る。

子どもたちの笑顔のために



藤枝市



元気共奏・飛躍ふじえだ